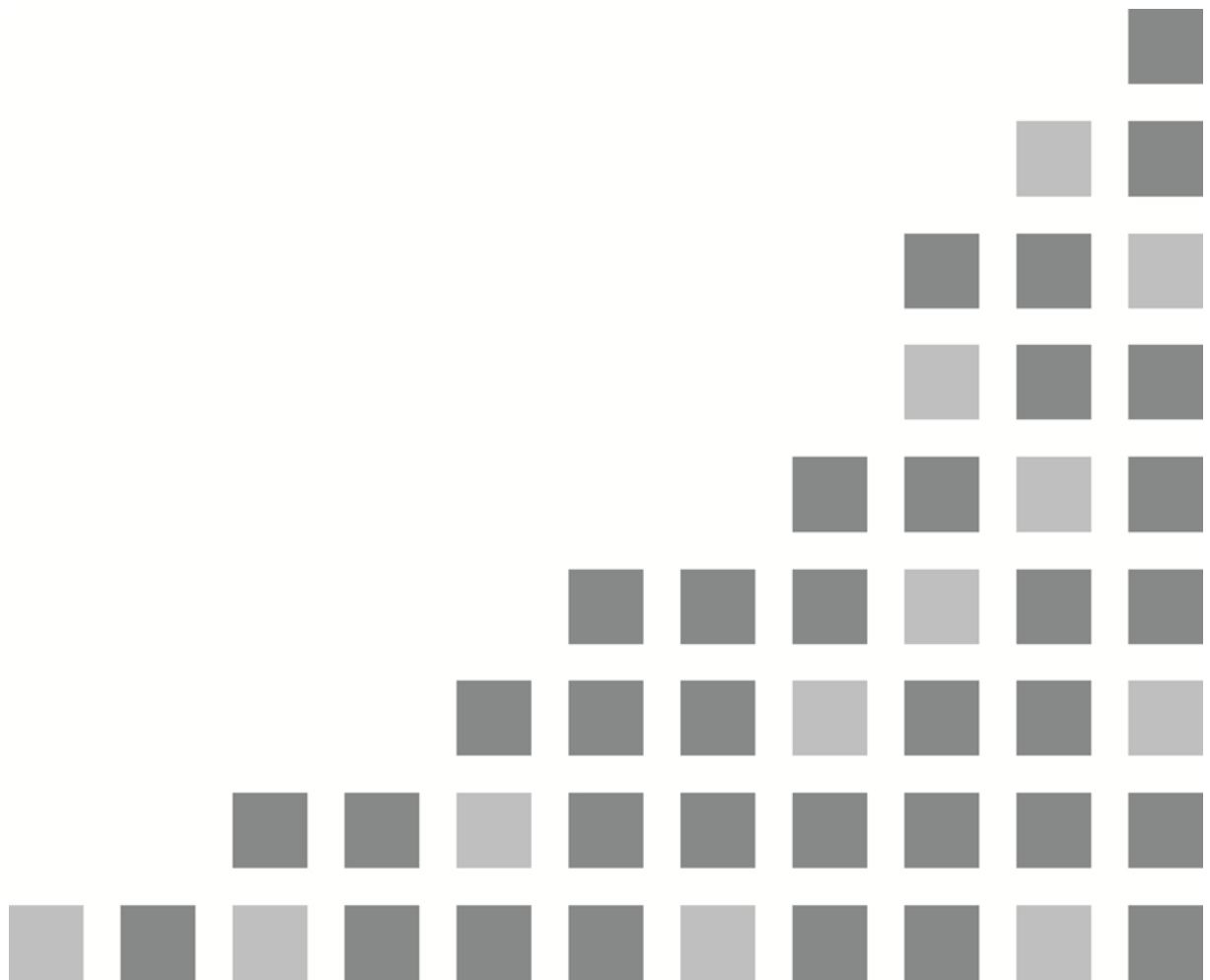


---

### AV-HS6000 Series Plug-in ソフトウェア



### <はじめに>

2MEライブスイッチャーAV-HS6000 シリーズでは、プラグインソフトウェアを登録して機能を追加できます。システムバージョン1.XX には、次のプラグインソフトウェアがプレインストールされています。

- AUX\_IP: ネットワークで接続したリモートコントロールパネル (Venetex社製のVS-R45) から、AUX出力素材が選択できます。
- GVG200: GVG200 プロトコル準拠の機器を、本製品のシリアルポート (RS-422) に接続して、制御できます。
- Serial Tally: TSL UMD Protocol V3.1 に対応したシリアル通信フォーマットで、タリー情報が出力できます。

### <登録・起動の設定>

トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[PLUGIN Maint]→[Configuration]/[Load]タブで、プラグインソフトウェアの登録、削除、起動を設定できます。詳しくはAV-HS6000シリーズ取扱ガイドを参照ください。

#### 注意:

プラグインソフトウェアの登録・起動の設定は V2.00.00 以上で有効になる機能です。

V2.00.00 未満ではプレインストールされている3つのプラグインソフトウェアは常に起動します。

## AUX IP

### <概要>

本ソフトウェアは、2MEスイッチャーAV-HS6000シリーズ用のプラグインソフトウェアです。ネットワークで接続したりリモートコントロールパネル(Venetex社製のVS-R45)から、AUX出力素材が選択できます。

### <準備>

VS-R45 をLAN ケーブルでAV-HS60U1/AV-HS60U2背面のLAN端子に接続します。

一つのプラグインで6台のVS-R45に対応しています。複数のVS-R45と接続する場合はHUBで分配して接続します。VS-R45は、AV-HS450用の設定にしてください。

### <設定>

- デフォルトゲートウェイを設定します。
  - ・トップメニューの<SYS>ボタン→[SYSTEM]→[Network]タブを選択する。
  - ・[Network2]コラムの[Default Gateway]を、通常 192.168.0.1 に設定する。
 設定を有効にするためには、システムの再起動が必要です。スイッチャーメインフレームと VS-R45 の電源を<OFF>にして、再度電源を<ON>にしてください。
- AUX\_IP プラグインの登録されている番号のメニューを表示します。
  - ・トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin 1-6]→[AUX\_IP]タブを選択する。
- AUX\_IP プラグインのネットワークを設定します。
  - ・Port No コラムで本機の受信ポート番号を設定します。“60020”固定です。
- VS-R45 の IP アドレス設定  
 [AUX\_IP IP Address1]～[AUX\_IP IP Address3]で、接続される 6 台分の VS-R45 の IP アドレスを設定します。  
 本メニューで設定した IP アドレスに対応する VS-R45(AUX\_IP1～6)各々に対して、Bus Convert1～3 と AUX XPT1～32 を、本機の AUX バスと素材に関連付けます。
- Bus Convert1～Bus Convert3 コラムは、6 台の VS-R45(AUX\_IP1～AUX\_IP6)それぞれに設定します。AUX\_IP コラムで対象とする AUX\_IP1～6 を設定し、VS-R45 のバス切り替え名称に対応する AV-HS6000 の AUX1～16 バスを設定します。

VS-R45	アサイン候補
KEY	AUX1～AUX16
PinP1	
PinP2	
DSK1	
DSK2	
AUX1	
AUX2	
AUX3	
AUX4	
PGM/A	
PGM/B	

6. AUX XPT1~AUX XPT32 コラムは、6 台の VS-R45(AUX\_IP1~AUX\_IP6)それぞれに設定します。AUX\_IP コラムで対象とする AUX\_IP1~6 を設定し、AUX XPT1~AUX XPT32 コラムで、VS-R45 のクロスポイントボタンに対応する素材を設定します。

Input 1-20	No Assign,SDI IN1~SDI IN20
Input 21-32	No Assign,SDI IN21~SDI IN32,DVI IN1,DVI IN2
Internal Source	No Assign,Still 1V,Still 1K,~Still 4V,Still 4K,Clip 1V,Clip 1K,~Clip 4V,Clip 4K, CBGD 1,CBGD 2,CBAR,Black
MEOut	No Assign, ME1PGM, ME1PVW, ME1CLN, ME1KEYPVW, ME2PGM, ME2PVW, ME2CLN, ME2KEYPVW, DSKPGM1, DSKPGM2, DSKPVW1, DSKPVW2, DSK1CLN~ DSK4CLN, SEL_KEYPVW
MV / Special	No Assign,MV1,MV2,MV3,MV4

## GVG200

### <概要>

本ソフトウェアは、2MEスイッチャーAV-HS6000シリーズ用のプラグインソフトウェアです。GVG200プロトコル準拠の機器を、本製品のシリアルポート(RS-422)に接続して、下記の制御を行います。

- バスの切替え
- ボタントリガー(プッシュボタンコントロール)
- パターン切替え
- トランジション設定

### <準備>

AV-HS60U1/AV-HS60U2 背面のCOM1～COM4ポートにGVG200プロトコル準拠の機器を接続します。ピンアサインはAV-HS6000シリーズ取扱ガイドを参照ください。

### <設定>

- GVG Protocol プラグインの登録されている番号のメニューを表示します。
  - ・トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin 1-6]→[GVG200]タブを選択する。
- Setting コラムでシリアル通信の設定を行います。

Port項目	メインフレームのCOMポート MF-COM1～MF-COM4を選択します。
--------	---------------------------------------

\*1)通信設定(固定): 8 bit data, 1 stop, odd parity, 38k4 baud

\*2)他のプラグインで使用している COM ポートを設定しないでください。

### <GVG200 プロトコル>

#### 1. 概要

- 本通信では、GVG200 プロトコルに準拠しています。
- ライトコマンドに対する応答は、次の 2 バイトです。
  - 0x0180: ACK 応答
  - 0x0140: NAK 応答
- リードコマンドに対する応答は、ライトコマンドのフォーマットを使用します。
- ブレイクコマンド(ブレイク信号)
  - AV-HS6000 シリーズでは、ブレイクコマンドがなくても各コマンドが受信可能です。

#### 2. バスの切替

- Crosspoint Bus Command(ライトコマンド)

PGM、PVW などのバスの素材を選択します。

Switcher Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Program Bus	03	ME1:01 ME2:02	C1	Crosspoint#
Preset Bus	03	ME1:01 ME2:02	C2	Crosspoint#
Key1 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	C3	Crosspoint#
Key2 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	C4	Crosspoint#
Key3 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	D1	Crosspoint#
Key4 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	D2	Crosspoint#
DSK1 Bus(Fill)	03	00	C1	Crosspoint#
DSK2 Bus	03	00	C2	Crosspoint#
DSK3 Bus	03	00	C3	Crosspoint#
DSK4 Bus	03	00	C4	Crosspoint#
AUX1 Bus	03	07	C1	Crosspoint#
~	~	~	~	~
AUX16 Bus	03	07	D0	Crosspoint#

- Crosspoint Bus Command (リードコマンド)

PGM、PVW などのバスの素材の選択状態を取得できます。

Switcher Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Program Bus	03	ME1:01 ME2:02	41	Crosspoint#
Preset Bus	03	ME1:01 ME2:02	42	Crosspoint#
Key1 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	43	Crosspoint#
Key2 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	44	Crosspoint#
Key3 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	51	Crosspoint#
Key4 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	52	Crosspoint#
DSK1 Bus(Fill)	03	00	41	Crosspoint#
DSK2 Bus(Fill)	03	00	42	Crosspoint#
DSK3 Bus(Fill)	03	00	43	Crosspoint#
DSK4 Bus(Fill)	03	00	44	Crosspoint#
AUX1 Bus	03	07	41	Crosspoint#
~	~	~	~	~
AUX16 Bus	03	07	50	Crosspoint#

<Crosspoint#>

Crosspoint#	Source	
00h~1Fh	SDI IN1~32	
20h~21h	DVI IN1~2	
30h	Still1V	
31h	Still1K	
32h	Still2V	
33h	Still2K	
34h	Still3V	
35h	Still3K	
36h	Still4V	
37h	Still4K	
40h	Clip1V	
41h	Clip1K	
42h	Clip2V	
43h	Clip2K	
44h	Clip3V	
45h	Clip3K	
46h	Clip4V	
47h	Clip4K	
50h	Color Bar	
51h	Color BackGround1	
52h	Color BackGround2	
53h	Black	
60h	ME1PGM	*1
61h	ME1PVW	*1
62h	ME1CLN	*1
63h	ME1KEYPVW	*1

Crosspoint#	Source	
64h	ME2PGM	*1
65h	ME2PVW	*1
66h	ME2CLN	*1
67h	ME2KEYPVW	*1
68h	DSKPGM1	*1
69h	DSKPGM2	*1
6Ah	DSKPVW1	*1
6Bh	DSKPVW2	*1
6Ch	DSK1CLN	*1
6Dh	DSK2CLN	*1
6Eh	DSK3CLN	*1
6Fh	DSK4CLN	*1
70h	SEL_KEYPVW	*1

\*1:AUX バスのみで選択できます。

3. ボタントリガー(プッシュボタンコントロール: Transition Pushbutton Select Command)  
 パネル上のボタン押下と同じ動作(On 状態であれば Off にトランジション、Off 状態であれば On 状態にトランジション)をします。

Switcher Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Auto	03	ME1:01 ME2:02	FB	1B
Cut	03	ME1:01 ME2:02	FB	1C
DSK1 Trans	03	00	FB	18
DSK2 Trans	03	00	FB	19
DSK3 Trans	03	00	FB	1A
DSK4 Trans	03	00	FB	1B
KEY1 Trans	03	00	FB	20
KEY2 Trans	03	00	FB	21
KEY3 Trans	03	00	FB	22
KEY4 Trans	03	00	FB	23
FTB	03	00	FB	1F

4. パターン切替(ワイプパターンセレクト:Wipe Pattern Select Command)

BKGD のワイプパターンを選択します。

Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Wipe Pattern	03	ME1:01 ME2:02	C8	Wipe No#

Wipe No は、AV-HS6000 シリーズメニュー表示のワイプパターン画面の各ワイプパターンアイコンに表示されている番号になります。

## 5. トランジション設定

- トランジションモード(Transition Mode Control Command)

トランジション対象 (BKGD,KEY1-4)を選択します。

Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Transition Mode Control Command	03	ME1:01 ME2:02	CA	Mode Byte

## Mode Byte

Bit 7 (MSB)	Don't Care
Bit 6	Don't Care
Bit 5	Don't Care
Bit 4	0=KEY4 未選択、1=KEY4 選択
Bit 3	0=KEY3 未選択、1=KEY3 選択
Bit 2	0=BKGD 未選択、1=BKGD 選択
Bit 1	0=KEY1 未選択、1=KEY1 選択
Bit 0 (LSB)	0=KEY2 未選択、1=KEY2 選択

- Autoトランジション時間(Transition Rate Control Command)

BKGD,KEY・DSK,AUXトランジション時間を設定します。

Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
BKGD,KEY1-4	05	ME1:01 ME2:02	CC	Rate Bytes
DSK1-4	05	00	CC	Rate Bytes
AUX1-4	05	07	CC	Rate Bytes

トランジション時間は、0-999 フレームが指定できます。

BKGD,KEY1-4 のコマンドですべて未選択の場合は、すべて選択(BKGD,KEY1-4)とします。

## Rate Bytes

Byte1: 指定対象と時間の百の位を表します。

Bit 7 (MSB)	0=時間変更のみ(固定)
Bit 6	0=BKGD 未選択、1=BKGD 選択
Bit 5	KEY1/DSK1/AUX1 0=未選択、1=選択
Bit 4	KEY2/DSK2/AUX2 0=未選択、1=選択
Bit 3~Bit 0 (LSB)	時間の百の位 0-9 (0000~1001)

Byte2: 指定対象と時間の十の位を表します。

Bit 7 (MSB)	Don't Care
Bit 6	Don't Care
Bit 5	KEY3/DSK3/AUX3 0=未選択、1=選択
Bit 4	KEY4/DSK4/AUX4 0=未選択、1=選択
Bit 3~Bit 0 (LSB)	時間の十の位 0-9 (0000~1001)



Byte3: 指定対象と時間の一の位を表します。

Bit 7 (MSB)	Don't Care
Bit 6	Don't Care
Bit 5	Don't Care
Bit 4	Don't Care
Bit 3~Bit 0 (LSB)	時間の一の位 0-9 (0000~1001)

## Serial tally

### <概要>

本ソフトウェアは、2MEスイッチャーAV-HS6000シリーズ用のプラグインソフトウェアです。TSL UMD Protocol V3.1 に対応したシリアル通信フォーマットでタリー情報が出力できます。

### <準備>

AV-HS60U1/AV-HS60U2 背面のCOM1または、COM2ポートにタリー装置を接続します。ピンアサインはAV-HS6000シリーズ取扱ガイドを参照ください。

### <設定>

1. Serial tally Control プラグインの登録されている番号のメニューを表示します。  
トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[plugin 1-6]→[Serial tally]タブを選択する。
2. Port Setting コラムでシリアル通信の設定を行います。

Port項目	メインフレームのCOMポート MF-COM1またはMF-COM2を選択します。
Timing項目	再送信の間隔を1sec～10secで設定します。

\*通信設定(固定): 8 bit data, 1 stop, even parity, 38k4 baud

3. Status コラム、Tally コラムで、TSL UMD V3.1 の ID を指定すると送信データを確認できます。

Status コラム

ID項目	TSL UMD v3.1のIDを0～126から設定します。
Source ID項目	指定したID項目に対応するSource IDを表示します。
Source Name項目	指定したID項目に対応するSource Nameを表示します。

Tally コラム

Tally1～Tally4項目	指定したID項目に対応するTally Group1～Tally Group4のタリー情報を表示します。
Test項目	Onにすると指定したID項目のTally1～Tally4情報を強制的にOnにして送信します。

## &lt;TSL UMD V3.1 Mapping&gt;

Header (1 byte)  ID(0~126) +80h	ID(0~126)	Source ID
	0	-
	1-32	SDIIN1-32
	33-34	DVIIN1,2
	35-50	-
	51	CBGD1
	52	CBGD2
	53	CBAR
	54	Black
	55-62	Still1-4V/K
	63-70	CLIP1-4V/K
	71-86	AUX1-16
	87-97	-
	98	ME1PGM
	99	ME1PVW
	100	ME1CLN
	101	ME1KEYPVW
	102	ME2PGM
	103	ME2PVW
	104	ME2CLN
	105	ME2KEYPVW
	106-113	-
	114	DSKPGM1
	115	DSKPGM2
	116	DSKPVW1
	117	DSKPVW2
	118	DSK1CLN
	119	DSK2CLN
	120	DSK3CLN
	121	DSK4CLN
122	SEL_KEYPVW	
123-126	MV1-4	
Control (1 byte)	Bit0: Tally Group1 (1=On,0=Off) Bit1: Tally Group2 (1=On,0=Off) Bit2: Tally Group3 (1=On,0=Off) Bit3: Tally Group4 (1=On,0=Off) Bit4: 1 Bit5: 1 Bit6: 0 Bit7: 0	
Display Data (16 byte)	マルチビューディスプレイ表示の素材名	